

1. 調査の概要

調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

- 小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部の第6学年の児童
- 中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部の第3学年の生徒

調査の内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語） ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

※ 今年度、中学校英語を追加

平成31年(2019年)4月18日(木)に調査を実施した学校数・児童生徒数

	北海道（公立）			〔参考〕全国（公立）		
	対象学校数(校)	実施学校数(校)(実施率)	児童生徒数(人)	対象学校数(校)	実施学校数(校)(実施率)	児童生徒数(人)
小学校	1,000	997(99.7%)	38,837	19,299	19,263(99.8%)	1,028,203
中学校	585	584(99.8%)	37,859	9,572	9,513(99.4%)	938,888
合計	1,585	1,581(99.7%)	76,696	28,871	28,776(99.7%)	1,967,091

※ 札幌市を含む。 ※ 調査期日に実施できなかった学校は、実施学校数に含まれていない。

2. 結果の概要

■教科に関する調査

○ 平均正答率の比較

- ・ 小学校は、すべての教科で全国との差が2.1ポイント以内（平成30年度2.8ポイント以内）。
- ・ 中学校は、すべての教科で全国との差が1.8ポイント以内（平成30年度1.2ポイント以内）。

各教科の平均正答率

平均正答率 (%)	道 国	小学校		中学校		
		国語	算数	国語	数学	英語
		H31(R1)	H31(R1)	H31(R1)	H31(R1)	H31(R1)
		63 [62.8]	64 [64.5]	72 [72.1]	58 [58.1]	54 [54.2]
		64 [63.8]	67 [66.6]	73 [72.8]	60 [59.8]	56 [56.0]

※ 道の平均正答率：国が公表した整数値 [道教委が独自に算出した小数値]

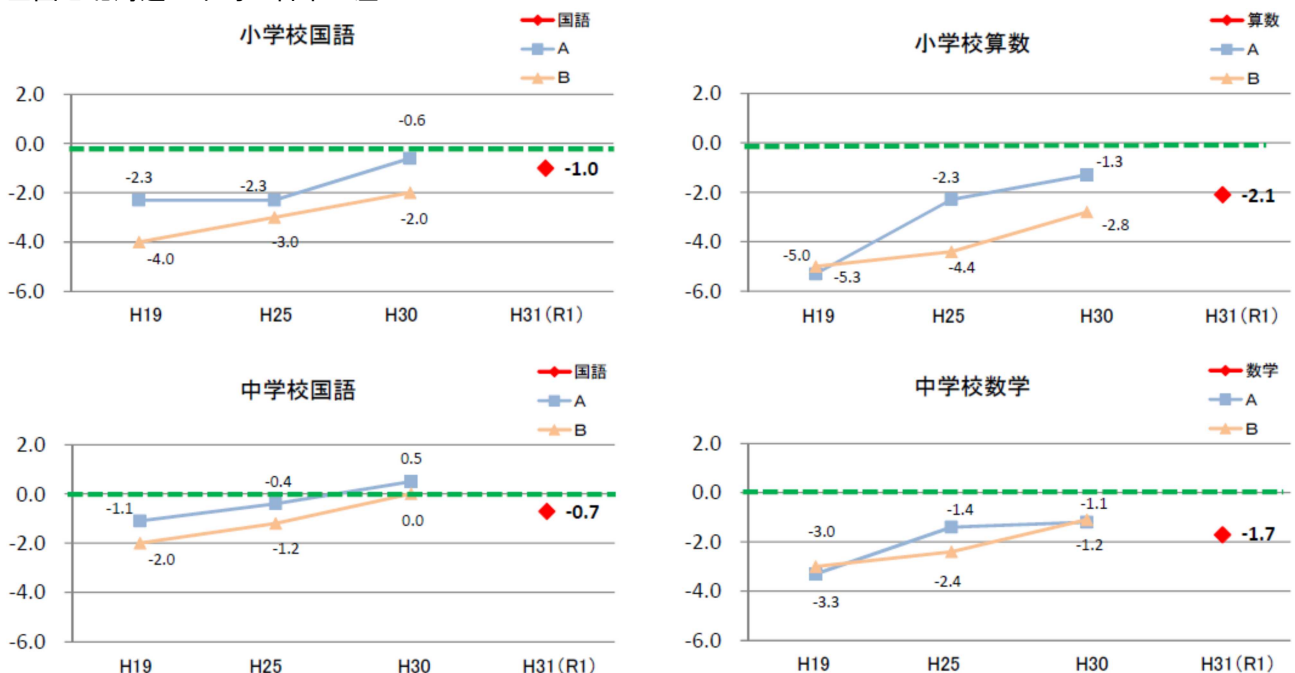
※ 国の平均正答率：国が公表した小数値を、小数第1位で四捨五入した整数値 [国が公表した小数値]

※ 中学校英語は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計値。

〔参考〕中学校英語「話すこと」調査の平均正答率（国の参考値）：

全国（国公私）の平均正答率（%）31 [30.8]、全国（国公私）の平均正答数（問）1.5/5

全国と北海道の平均正答率の差



※ 数値は、「北海道(公立)の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差で算出。

■ 質問紙調査

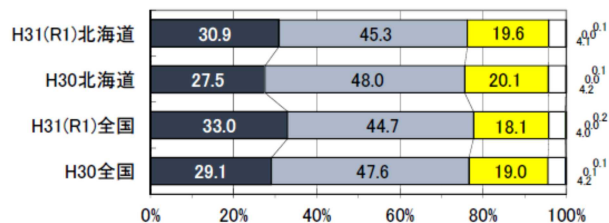
授業について（児童生徒）

「5年生まで〔中：1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」

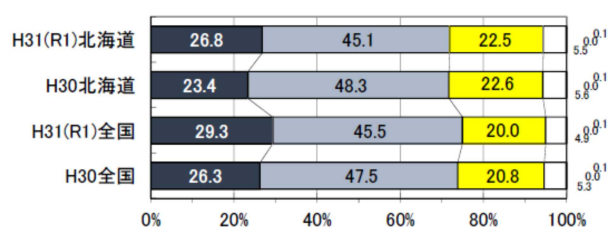
「1. 当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校で3.4ポイント、中学校で3.4ポイント高い。全国と比べて、小学校で2.1ポイント、中学校で2.5ポイント低い。

■ 1. 当てはまる □ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない □ 4. 当てはまらない ■ その他 ■ 無回答

〈小学校〉



〈中学校〉



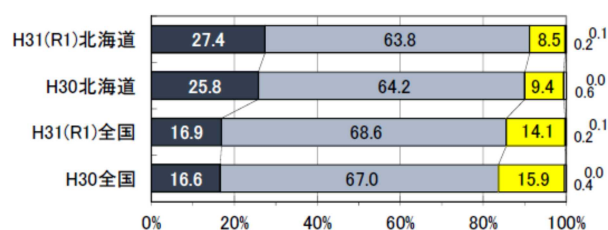
授業について（学校）

「調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか」

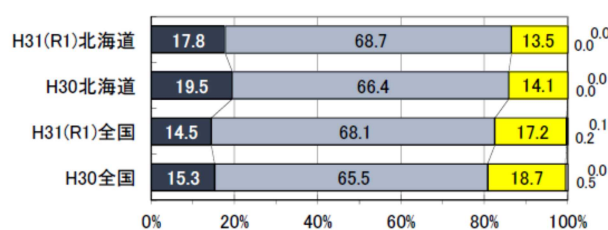
「1. そう思う」と回答している学校の割合は、昨年度と比べて、小学校で1.6ポイント高く、中学校で1.7ポイント低い。全国と比べて、小学校で10.5ポイント、中学校で3.3ポイント高い。

■ 1. そう思う □ 2. どちらかといえば、そう思う ■ 3. どちらかといえば、そう思わない □ 4. そう思わない ■ その他、無回答

〈小学校〉



〈中学校〉



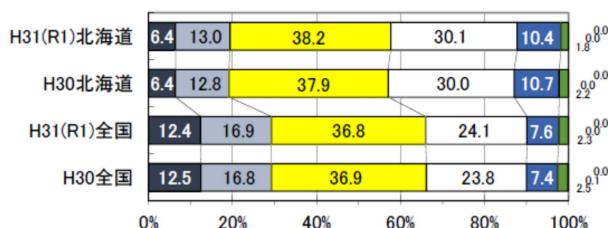
家庭での学習習慣について（児童生徒）

「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)」

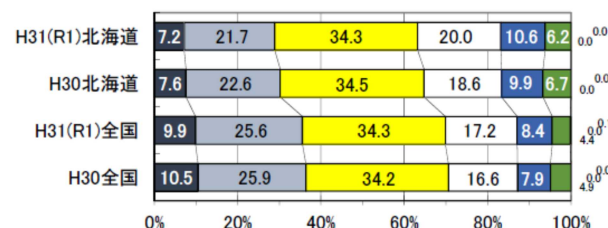
1日当たり1時間以上すると回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校で0.5ポイント高く、中学校で1.5ポイント低い。全国と比べて、小学校で8.5ポイント、中学校で6.6ポイント低い。

■ 1. 3時間以上 □ 2. 2時間以上、3時間より少ない ■ 3. 1時間以上、2時間より少ない □ 4. 30分以上、1時間より少ない
■ 5. 30分より少ない ■ 6. 全くしない ■ その他 ■ 無回答

〈小学校〉



〈中学校〉



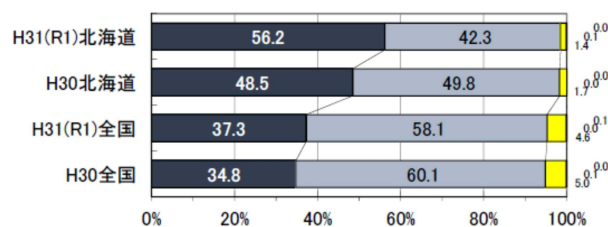
PDCAサイクルの確立について（学校）

「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか」

「1. よくしている」と回答している学校の割合は、昨年度と比べて、小学校で7.7ポイント、中学校で8.3ポイント高い。全国と比べて、小学校で18.9ポイント、中学校で19.4ポイント高い。

■ 1. よくしている □ 2. どちらかといえば、している ■ 3. あまりしていない □ 4. 全くしていない ■ その他、無回答

〈小学校〉



〈中学校〉

